



発行所  
熊本日新聞社  
〒860-8506  
熊本市世安町172  
代表(096)361-3111  
© 熊本日新聞社 2010

# 号外

ご購入のお申し込み ☎0120-374625  
詳しくは熊本日新聞  
夕・朝刊をご覧ください

# 日本人3人釈放

## 中国、1人は拘束

### 對抗措置、徐々に解除か

【北京共同＝塩沢英一】中国河北省石家荘市で軍事管理区域に許可なく侵入、撮影した疑いで20日から拘束されていた建設会社フジタと現地法人の日本人社員4人のうち3人が30日、釈放された。日本外務省幹部が同日、釈放を確認したことを明らかにした。

釈放されたのは同社の中国現地法人工務・積算副部長高橋定さん以外の3人。新華社電は、3人が中国の法律に違反する行為があったことを認めたとしている。高橋さんの取り調べは続いているという。



日本人が拘束されたとみられる軍事管理区域付近の標識。左側に「軍事禁区」、門前に「警戒線」とある＝24日、中国河北省石家荘市（共同）



沖縄県・尖閣諸島付近で中国漁船が海上保安庁の巡視船と衝突した事件で、日本側が公務執行妨害容疑で拘置していた中国人船長を25日未明に釈放、無事中国へ帰国させたことを踏まえ釈放したとみられる。中国側は今後、日中関係の修復へ向けて高官交流の停止などほかの對抗措置も徐々に解除していく可能性が高い。中国側が船長の拘置に強く反発、次々と對抗措置を打ち出す中で、日本人4人は中国の軍事施設保護に関する法規に違反したとして20日、国家安全当局に拘束された。4人は、旧日本軍の遺棄化学兵器関連事業の入札に参加するため下見に訪れていた。釈放されたのは佐々木善郎さん、橋本博貴さん、井口準一さん。フジタは事実関係を確認中としている。